

～東アジア貿易の玄関口～

# 下関に集うアサリ

本州の最西端に位置し、県庁所在地である山口市を凌いで山口県最大の人口規模を誇る下関市は、関門海峡を挟んで日本海と瀬戸内海に面している。本州と九州の接点として栄えてきた下関市。第一次産業では水産業が特に盛んであり、日本一と名高いフクの水揚げ高は、全国の8割を占めている。アンコウの水揚げ高も日本一で、アサリの養殖も盛んに行われている。今回は、下関を拠点とするアサリ輸送部隊に突撃。水産物輸送に命をかける、男たちの愛機を紹介しよう。



船を使用し、養殖用のアサリが次々と水揚げされてゆく。一袋は約20キロで、4月以降は温度が上がってアサリが死んでしまうのを防ぐために、上から氷が撒かれるとのこと。この後、トラックによって各地へと出荷されて行くのである。

関門海峡のランドマークと言えば、この海峡ゆめタワー。山口県では初となる「恋人の聖地」として認定され、28階には縁結び神社も。